

2022 年 生体運動研究合同班会議プログラム: 2022 年 1 月 7 日(金)~9(日)

名古屋大学・野依記念学術交流館 (2F カンファレンスホール)

■: リモート発表

第1日目: 1月7日(金) 午後		
	13:00 - 13:10	会場, 発表形式の説明と案内 (世話人 成田哲博)
1.	13:10 - 13:22	タウオパチー神経変性疾患脳における微小管結合タンパク質タウのリン酸化 Samimi, N1, 木村妙子 2, 松原友康 3, 長谷川成人 2, 安藤香奈絵 1, *久永真市 1, 2 (1 都立大生命科学, 2 都医学研認知症 PJ, 3 都健康長寿医療センターブレインバンク)
2.	13:22 - 13:34	キネシンのパワーstrokeのトルク成分による自転運動について *須河光弘 1, 丸山洋平 1, 山岸雅彦 1, Robert A. Cross 2, 矢島潤一郎 1 (1 東京大学, 2 Warwick Medical School)
3.	13:34 - 13:46	細胞内温度イメージングを用いた神経分化機構の解明 *中馬 俊祐 1, 2, 岡部 弘基 3, 4, 原田 慶恵 2, 5 (1 大阪大学理学研究科, 2 大阪大学蛋白質研究所, 3 東京大学薬学系研究科, 4 JST さきがけ, 5 大阪大学量子情報・量子生命研究センター)
4. ■	13:46 - 13:58	骨格筋細胞分化における MTM1/Myotubularin の機能解析 *田原史也 1, 藤瀬賢志郎 2, 山田浩司 3, 竹居孝二 3, 竹田哲也 3 (1 岡山大学大学院医歯薬学研究所, 2 Yale University, 3 岡山大学学術研究院医歯薬学域)
5.	13:58 - 14:10	枯草菌べん毛モーター固定子のナトリウム依存的構造変化メカニズム *竹川宜宏 1, 上堀まりあ 1, 山口綾香 1, 南野徹 2, 今田勝巳 1 (1 大阪大学理学研究科, 2 大阪大学生命機能研究科)
6.	14:10 - 14:22	ミクロスコピックな温度の精密操作で見いだされたドレブリン E によるアクチン・ミオシン相互作用の協同的制御 久保田寛顕 1, 宮崎牧人 2, 3, 石渡信一 4, *鈴木団 5 (1 東京都健康安全研究センター, 2 京都大学白眉センター, 3 JST さきがけ, 4 早稲田大学, 5 大阪大学蛋白質研究所)
7.	14:22 - 14:34	マグネソーム鎖の細胞内配置の制御に関わる MamY タンパク質の機能解析 *下茂梨乃 1, 菊池洋輔 2, 田岡東 2, 3 (1 金沢大・院・自然科学, 2 金沢大・ナノ研, 3 金沢大・理工)
休憩 18(分)		
8.	14:52 - 15:04	筋サルコメア構造の人工設計から探るミオシンの協調運動とストラクチャルミスマッチの生理的意義 福永裕樹 1, 鷲尾巧 2, 藤田恵介 3, 大町優史 3, 柳田敏雄 1, 3, 4, *岩城光宏 3, 4 (1 大阪大学大学院生命機能研究科, 2 UT-Heart 研究所, 3 理化学研究所生命機能科学研究センター, 4 大阪大学免疫学フロンティア研究センター)
9.	15:04 - 15:16	AFM イメージングにおける微小管マイナス端の標識 *渋谷颯人 1, 樋口雄希 1, 古寺哲幸 2, 林郁子 1 (1 横浜市立大学生命医科学研究科, 2 金沢大学ナノ生命科学研究科)
10.	15:16 - 15:28	3D 遊泳トラッキングシステムを用いたホヤ精子走化性の解析 *柴小菊, 稲葉一男 (筑波大・下田臨海)
11. ■	15:28 - 15:40	長時間露光によるクラミドモナスの走光性符号変動 *朝比奈佑磨 1, 2, 久堀徹 1, 2, 若林憲一 1, 2 (1 東工大・化生研, 2 東工大・生命理工)
12. ■	15:40 - 15:52	強い負の走光性を示す緑藻クラミドモナス新規変異株の単離と解析 *宋叡陽 1, 2, 植木紀子 3, 中島昌子 1, 坂本一馬 1, 2, 山口勝司 4, 重信秀治 4, 久堀徹 1, 2, 廣野雅文 5, 若林憲一 1, 2 (1 東工大・化生研, 2 東工大・生命理工, 3 法政大・自然科学セ, 4 基生研・生物機能, 5 法政大・生命)
13.	15:52 - 16:04	アクチンの ATP 加水分解反応メカニズム: ADP-Pi 結合型の再発見 *前田雄一郎 1, 兼松佑典 2, 武田修一 3, 成田哲博 4, 小田俊郎 5, 小池亮太郎 1, 太田元規 1, 岩佐充貞 1, 鷹野優 6, 森次圭 7, 藤原郁子 8, 田中康太郎 9, 永江峰幸 10, 故渡邊信久 10 (1 名古屋大学・情報学, 2 広島大学・先進理工, 3 岡山大学・異分野基礎科学, 4 名古屋大学・理学, 5 東海学院大学, 6 広島市大・情報学, 7 横浜市立大・情報学, 8 長岡技術科学大学・生物機能工学, 9 名古屋大学・創薬, 10 名古屋大学・シンクロtron光研究センター)
14.	16:04 - 16:16	弱体化した細胞における細胞内粒子拡散の時間変化 *太田英暁, 樋口秀男 (東京大学理学系研究科)
休憩 (18 分)		
15.	16:34 - 16:46	宿主腸内を一系列に並んで泳ぐ共生細菌の 1 個体イメージング *吉岡青葉 1, 菊池義智 2, 菅哲朗 1, 中根大介 1 (1 電気通信大学基盤理工学科, 2 産業技術総合研究所生物プロセス)

16.	16:46 – 16:58	シグナル伝達機構解明のための巨大細胞の利用 *林田幸久 1, 森本雄祐 2 (1九州工業大学情報工学部物理情報工学科, 2九州工業大学大学院情報工学研究院物理情報工学研究系)
17. ■	16:58 – 17:10	魚類上皮ケラトサイト集団におけるフォロワー細胞の割り込みによる集団先端端の伸長 *岩永美咲 1, 沖村千夏 1, 櫻井建成 2, 上野匡 3, 浦野泰照 3, 4, 5, 岩楯好昭 1 (1山口大学創生科学研究科, 2武蔵野大学工学部, 3東京大学薬学系研究科, 4東京大学医学系研究科, 5CREST)
18.	17:10 – 17:22	ツインフィリン C 末端尾部によるアクチンキャッピングタンパク質制御機構 *武田修一 1, 小池亮太郎 2, 藤原郁子 3, 成田哲博 4, 宮田真人 5, 太田元規 2, 前田雄一郎 2 (1岡山大学異分野基礎科学研究所, 2名古屋大学情報学研究科, 3長岡技術科学大学工学研究科, 4名古屋大学理学研究科, 5大阪市立大学理学研究科)
19.	17:22 – 17:34	ポドサイトにおける FilGAP の機能解析 *與川正治 1, 斉藤康二 1, 畠山裕康 2, 高橋倫子 2, 栗原秀剛 3, 太田安隆 1 (1北里大学理学部生物科学科細胞生物学, 2北里大学医学部生理学, 3藍野大学医療保健学部理学療法学科)
20.	17:34 – 17:46	マグネソームタンパク質 MamJ による MamK 細胞骨格の重合制御 齋藤拓海 1, 菊池洋輔 2, 江口友佳子 3, *田岡東 2, 4 (1金沢大・院・自然科学, 2金沢大・ナノ研, 3金沢大・男女共同参画ラボ, 4金沢大・理工)
21.	17:46 – 17:58	細菌アクチン MreB の ATP 加水分解機構 *高橋大地 1, 藤原郁子 1, 2, 3, 今田勝巳 4, 宮田真人 1, 2 (1大阪市立大学・大学院理学研究科, 2複合先端研究機構・大阪市立大学, 3長岡技術科学大学・生物機能工学課程, 4大阪大学・大学院理学研究科)
22.	17:58 – 18:10	キネシン/ダイニンが制御する軸索内小胞プールのパターン形成 *加川裕貴 1, 佐々木瞭 1, 穴澤ゆず 2, 丹羽伸介 3, 林久美子 1,4 (1東北大・院工学, 2東北大・院生命科学, 3東北大・学際研, 4JST さきがけ)

2日目:1月8日(土) 午前

23.	9:00 – 9:12	構造スナップショットによる V 型 ATPase の回転機構の解明 岸川淳一 1,2, 中西温子 1, 3, 中野敦樹 1, 佐伯詩織 1, 光岡薫 3, *横山謙 1 (1京都産業大学生命科学研究科, 2大阪大学蛋白質研究所, 3大阪大学超高压電子顕微鏡センター)
24.	9:12 – 9:24	好熱菌 FoF1 の動的構造解析によって回転機構を明らかにする *中野敦樹 1, 岸川淳一 2, 中西温子 3, 横山謙 1 (1京都産業大学生命科学研究科, 2大阪大学蛋白質研究所, 3大阪大学超高压電子顕微鏡センター)
25.	9:24 – 9:36	微小管の屈曲によるキネシンの運動活性変調 *内橋貴之 1, 2 NASRIN, Syeda Rubaiya3, GANSER, Christian2, 西川聖二 3, KABIR Arif Md, Rashedul3, 佐田和己 3, 山下 雄史 4, 池口満徳 5, HESS, Henry6, 角五彰 3 (1名古屋大学理学研究科, 2自然科学研究機構生命創成探究センター, 3北海道大学大学院理学研究院, 4東京大学先端科学技術研究センター, 5横浜市立大学生命医科学研究科, 6Department of Biomedical Engineering, Columbia University)
26.	9:36 – 9:48	高静水圧で誘発される心筋細胞の緩徐な収縮現象 *山口陽平 1, 西山雅祥 2, 甲斐寛彬 3, 金子智之 1, 入部玄太郎 1, 成瀬恵治 3, 森松賢順 3 (1旭川医科大学, 2近畿大学理工学部, 3岡山大学医歯薬学総合研究科)
27.	9:48 – 10:00	アクチンフィラメントの分子間 FRET を使うとこんな事がわかる。 *本多元 1, 根笹未来 1, 猿子良太 1, 西方一路 2, 上村健二 2, 藤原郁子 1 (1長岡技大・生物, 2長岡高専・電子)
28. ■	10:00 – 10:12	チューブリン重合阻害剤への耐性をもたらすクラミドモナス Apm1(HSP40 ファミリー)の変異 *箕浦高子, 神谷律(中央大学理工学部)
休憩(18分)		
29. ■	10:30 – 10:42	Regulation of actin-binding proteins by phosphoinositides *千住洋介(岡山大学異分野基礎科学研究所)
30.	10:42 – 10:54	精子鞭毛ダブレット微小管上のダイニン集団の振動とモデル計算 *藤原貴史 1, 茅 元司 2, 鷲尾 巧 3, 4, 真行寺千佳子 1, 2, 樋口秀男 1, 2 (1東大・生物学, 2東大・物理, 3東大・フューチャーセンター, 4UT Heart)

31.	10:54 - 11:06	減圧力顕微鏡の開発 *西山雅祥 (近大)
32.	11:06 - 11:18	分裂酵母収縮環蛋白質 Rng2 のアクチン結合ドメインは、アクトミオシン II の運動を協同的に阻害する 早川悠貴 1, 高橋正勝 2, Kien Xuan Ngo 3, 今井大河 4, 山田正文 5, 広瀬恵子 5, 古寺哲幸 3, 徳楽清孝 4, 沼田治 2, 中野賢太郎 2, *上田太郎 1, 5 (1 早大先進理工, 2 筑波大理工情報生命, 3 金沢大ナノLSI, 4 室蘭工大応用理化学, 5 産総研バイオメディカル)
33.	11:18 - 11:30	運動の抑制による PC12 細胞への Amyloid β 凝集・沈着の阻害 *倉賀野 正弘 1 近井 優作 1, Lin Xuguang 1, 高橋 正行 2 徳楽 清孝 1 (1 室蘭工業大学大学院工学研究科, 2 北海道大学大学院理学研究院化学部門)
34.	11:30 - 11:42	蛍光陰影によるオルガネラのライブイメージング *野住 素広 1, 五十嵐 道弘 1, Valentin Nägerl 2 (1 新潟大学医学部, 2 ボルドー大学神経科学研究所)
35.	11:42 - 11:54	超広視野顕微鏡の安価版(SeMATERAS)の開発 *分部 寛道, 井上 裕一 (シグマ光機・開発部)

昼休み

第2日目:1月8日(土) 午後

36.	13:00 - 13:12	蛍光偏光で見る細胞皮層アクチンの配向ダイナミクス *谷知己 1, 石井宏和 2, 杉崎綾奈 3, 中井紀 3, 佐藤啓介 3, 寺田純雄 3 (1 産業技術総合研究所, 2 生理学研究所, 3 東京医科歯科大学)
37.	13:12 - 13:24	温めた心筋で顕在化する収縮リズム恒常性と電子顕微鏡ライブイメージング *新谷正嶺 (中部大学・生命健康科学部・生命医科学科)
38.	13:24 - 13:36	抗がんキナーゼ阻害薬が標的を活性化する危険性 *渡邊直樹 1, 2 (1 京都大学生命科学研究科, 2 京都大学医学研究科)
39.	13:36 - 13:48	ショウジョウバエの左右非対称性を制御する Myo1C と Myo1D の解析 *吉村考平 1, 原口武士 1, 伊美拓真 1, 山口明日香 2, 前田知那美 2, 松野健治 2, 伊藤光二 1 (1 千葉大学大学院 融合理工学府, 2 大阪大学大学院 理学研究科)
40.	13:48 - 14:00	Roles of MYOSIN XI-I in mitochondrial movement in Arabidopsis thaliana (シロイヌナズナのミトコンドリア運動におけるミオシン XI-I の役割) *藤森達郎 1, Md. Sayeedul Islam 1, 大西厚輝 1, Wang Yingqi 1, 富永 基樹 2, 高木慎吾 1 (1 大阪大学理学研究科, 2 早稲田大学教育・総合科学学術院 理学科)
41.	14:00 - 14:12	大腸菌べん毛の回転方向に依存した揺らぎ *福岡創 (阪大院・生命機能)
42.	14:12 - 14:24	CDK-FilGAP リン酸化経路による細胞運動制御 *小森涼英, 堤弘次, 太田安隆 (北里大学理学部生物科学科細胞生物学講座)
43.	14:24 - 14:36	アクチン脱重合でのサブユニット解離の観察に向けて *三谷隆大 1, 國田樹 2, 藤原郁子 1, 本多元 1 (1 長岡技大・生物機能工学, 2 琉球大学・工学部・工学科・知能情報コース)
休憩(18分)		
44.	14:54 - 15:06	Motion Analysis Of Actin Oligomer In Lamellipodia By SIMS Microscopy *臼倉英治 1, 山城佐和子 2, 渡邊直樹 1, 2 (1 京都大学医学研究科, 2 京都大学大学院生命科学研究科)
45.	15:06 - 15:18	深層学習を活用した細胞活性度の定量的評価の検討～低コントラスト SH-SY5Y 細胞画像への適用～ *パウル・シュテファン, 倉賀野正弘, 徳楽清孝, 渡邊真也 (室蘭工業大学)
46.	15:18 - 15:30	F-アクチンの固定条件がアクチン結合タンパク質の協同的相互作用に与える影響 *綱淵棕介 1, 細川直輝 1, 倉賀野正弘 1, 吉野敦貴 1, 柴田桂太郎 2, 上田太郎 3, 徳楽清孝 1 (1 室蘭工業大学, 2 徳島大学, 3 早稲田大学)
47.	15:30 - 15:42	箍のようにはたらく細菌べん毛固定子タンパク質 PomA の内膜界面に平行な細胞質ヘリックス *小嶋誠司 1, 錦野達郎 2, 相良悠伍 1, 寺島浩行 1, 3, 本間道夫 1 (1 名古屋大・院理・生命理学, 2 大阪大・蛋白研, 3 長崎大・熱帯医学研究所)

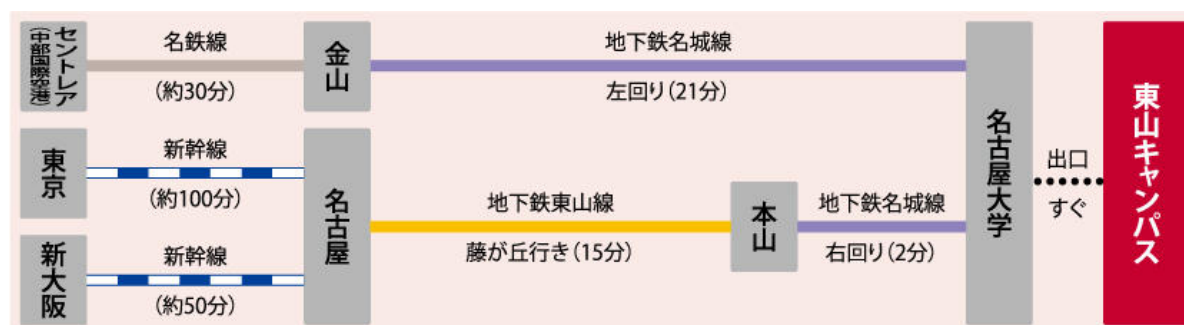
48.	15:42 - 15:54	ミオシン1c/1d が駆動するF-アクチンのコークスクリュア運動 *佐藤優成 1, 吉村 孝平 2, 松田恭平 1, 原口武士 3, 山岸雅彦 1, 須河光弘 1, 伊藤光二 2, 3, 矢島潤一郎 1 (1 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻, 2 千葉大・院・融合理工・生物, 3 千葉大・院・理学・生物)
49.	15:54 - 16:06	パルス電子顕微鏡による蛋白質の液中観察に向けて *山崎岳, 松本友治, 成田哲博 (名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻)
50.	16:06 - 16:18	神経細胞の形態制御におけるフォルミン蛋白質 Fhod3 の役割 Hikmawan Wahyu Sulistomo, 根本隆行, *鹿毛陽子, 武谷立 (宮崎大学医学部)
休憩(18分)		
51.	16:36 - 16:48	GTP 加水分解によって大きく構造を変えるアクチン線維ホモログ Adrian Koh1, Samson Ali2, David Popp1, Robert Robinson2, *Akihiro Narita3 (1 シンガポール A*STAR, 2 岡山大学異分野基礎科学研究所, 3 名古屋大学理学研究科)
52.	16:48 - 17:00	周囲環境の拘束下で生じるアクトミオシン液滴の自発運動 *坂本遼太 1, Ziane Izri2, 島本勇太 3, 宮崎牧人 4, 5, 6, 7, 前多裕介 1 (1 九州大学理学研究院, 2 ミネソタ大学, 3 国立遺伝学研究所, 4 京都大学白眉センター, 5 京都大学理学部, 6 キュリー研究所, 7 PRESTO, JST)
53.	17:00 - 17:12	機械モデル作成による魚類ケラトサイトのストレスファイバ直動回転変換機構の推定 沖村千夏 1, 秋山珠祐 1, 櫻井建成 2, *岩楯好昭 1 (1 山口大学理学部, 2 武蔵野大学工学部)
54.	17:12 - 17:24	植物細胞の分裂前期に微小管帯の拡散を防ぐアクチンウォールは存在するか? 飯塚駿作 1, 玉置大介 2, 大塚礼己 3, 中井朋則 4, 山内大輔 4, 唐原一郎 2, *峰雪芳直 4 (1 富山大・院・理工, 2 富山大・学術・理, 3 兵庫県大・院・生命理学, 4 兵庫県大・院・理)
55.	17:24 - 17:36	核移行因子インポーチンの神経軸索輸送における新規機能 *水野克俊 1, 菅原将樹 1, 2, 加藤諒大 1, 2, 伊藤貴文 3, 山田雅己 1 (1 福井大学・医学, 2 福井大・工学, 3 福井県立大生物資源学部)
56.	17:36 - 17:48	群体性ボルボックス目緑藻プレオドリナ精子束の運動 *鹿毛あずさ 1, 高橋昂平 2, 野崎久義 2, 東山哲也 2, 馬場昭次 3, 西坂崇之 1 (1 学習院大・物理, 2 東大・院理・生物科学, 3 お茶大・生命)
57.	17:48 - 18:00	繊毛における外腕ダイニンの活性調節 *近藤裕祐, 八木俊樹(県立広島大・生物資源科学)
58.	18:00 - 18:12	原形質流動を模倣した基板上でのミオシン XI によるアクチン繊維の極性配向解析 *長谷川江陽 1, 吉村考平 1, 原口武士 1, 富永基樹 2, 平塚祐一 3, 伊藤光二 1 (1 千葉大学大学院 融合理工学府, 2 早稲田大学 教育・総合科学学術院, 3 北陸先端大 生命機能工学領域)
	18:12 - 18:30	総会

第3日目:1月9日(日) 午前		
59.	9:00 - 9:12	水晶振動子微量天秤(QCM)を用いたアクチンとミオシンの相互作用の計測 *藤原郁子, 櫻井悠貴, 松本直樹, 小林穂乃香, 本多元 (長岡技大・生物機能工学)
60.	9:12 - 9:24	ユニバーサル分子配向プローブ POLARIS の開発と細胞骨格動態解析への応用 *佐藤 啓介 1, 杉崎 綾奈 1, 千葉 和義 2, 齊藤 健太 1, 川岸 将彦 1, Shalin B. Mehta 3, 白水 美香子 4, 谷 知己 5, 寺田 純雄 1 (1 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科, 2 お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科研究科, 3 米国 Chan Zuckerberg Biohub, 4 理研 生命機能科学研究センター, 5 産総研 バイオメディカル研究部門)
61.	9:24 - 9:36	フォルミン蛋白質 Fhod3 の心筋症病因変異がもたらす機能変化 *坂田鋼治, 鹿毛陽子, 武谷立 (宮崎大学医学部)
62.	9:36 - 9:48	Single-molecule speckle (SIMS) analysis of vinculin-actin interaction in lamellipodia *Ying LIU1, Sawako YAMASHIRO1.2, Naoki WATANABE1.2 (1. 京都大学大学院・生命科学研究所・分子動態生理学, 2. 京都大学大学院・医学研究科・神経細胞薬理学)
63.	9:48 - 10:00	ミニマル細菌に構築した最小の細胞運動システム *木山花 1, 柿澤茂行 2, 笹嶋雄也 1, 田原悠平 1, 3, 宮田真人 1, 3 (1 大阪市立大学大学院理学研究科, 2 国立研究開発法人・産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門, 3 大阪市立大学複合先端研究機構)

64.	10:00 – 10:12	FilGAP は YAP を介した E-cadherin の調節により上皮集団遊走を制御する *徳武百穂, 櫻原里奈, 堤弘次, 太田安隆 (北里大学理学部生物科学科 細胞生物学講座)
休憩(18分)		
65.	10:30 – 10:42	ゼニゴケの葉緑体逃避反応におけるピリンの役割 *加瀬佑介 1, 山田祥大 1, 國安恭平 1, 林晃之 2, 石田咲子 3, 西浜竜一 4, 河内孝之 3, 高木慎吾 1 (1 大阪大学理学研究科, 2 甲子園大学栄養学部, 3 京都大学生命科学研究科, 4 東京理科大学理工学研究科)
66.	10:42 – 10:54	微小管構造の温度依存性と安定化剤の効果 *上村慎治 1, 八木俊樹 2, 近藤裕祐 2, Estevez-Gallego, J.3, Lucena-Agell D.3, Diaz J.F.3, 岩本裕之 4 (1 中大理工学部, 2 県広大生命環境学部, 3 CSIC, Spain, 4 JASRI, SPring-8)
67.	10:54 – 11:06	ヒト肺炎マイコプラズマ滑走運動の力と歩幅 *水谷雅希 1, 笹嶋雄也 1, 宮田真人 1, 2 (1 大阪市立大学大学院理学研究科, 2 大阪市立大学複合先端研究機構)
68.	11:06 – 11:18	細胞浸潤マシナリーにおける膜リモデリング分子の機能解析 Haymar Wint, 李建振, 竹居孝二, *竹田哲也 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)
69.	11:18 – 11:30	ローダミンファロイジン標識アクチンフィラメントにおける蛍光強度の時空間的ゆらぎ *歳納健太, 山崎陽祐, 上田太郎 (早稲田大学 理工学術院先進理工学研究科 物理専攻)
70.	11:30 – 11:42	ステロイドホルモンによるマウス精子超活性化運動の調節と体外受精の成績 *藤ノ木政勝 (獨協医科大学医学部先端医科学統合研究施設実験動物センター)
71.	11:42 – 11:54	細胞の自発運動制御シグナルの生成に關与する RasGEFs *岩本 浩司 1, 松岡 里実 1, 2, 3, 上田昌宏 1, 2, 3 (1 大阪大学理学研究科生物科学専攻, 2 大阪大学生命機能研究科, 3 理研 BDR)

会場

名古屋大学東山キャンパス野依記念学术交流館



地下鉄名城線名古屋大学駅で下車し、上の地図に従ってご来場ください。開場は講演開始 30 分前です。

発表

今年はハイブリッド開催なので、会場、遠隔ともに zoom の画面共有を利用して行います。Zoom アプリケーションは、会議前にダウンロードとインストールを済ませておいてください。

<https://zoom.us/>

zoom 会議へアクセスするための URL は後日メールにてお知らせします。

会場で発表される方は、ご自身が発表するセッションの開始 10 分前には Zoom 会議への参加を完了してください。会場には無線 LAN を用意します。

発表する際は、Zoom 上で次の操作を行ってください。

1. 「画面を共有」をクリック。Zoom ウィンドウにマウスポインタを置くと、下端にでてきます。
2. 共有したい画面(power point もしくは keynote の画面)を選択。
3. 「共有を開始」をクリック。発表の開始
4. 発表、質疑応答が終わったら「共有の停止」をクリック。画面の上端に出ています。
5. ご自身の発表が終わりましたら、となりの座長席に移っていただき、次の講演者の分の座長をお願いします。会場での発表の場合、講演者席に登壇いただき、そこで上の作業を行い、発表を開始します。遠隔での発表の場合は、そのままご自分の PC から発表を開始してください。

本会議は通常一人 10 分の持ち時間なのですが、今回は講演者交代や質問に時間がかかると予想されるので、交代時間も含めて一人 12 分の持ち時間としています。目安としては、講演 8 分、質問時間 3 分、交代時間 1 分です。

質問、コメント

質問、コメントは基本的には会場優先としますが、座長の判断で、会場に質問者が残っていてもオンラインの質問を受けてもかまいません。会場での質問は質問者用のマイクを前に用意しますので、そこまで来て並んでください。オンラインの質問は zoom 画面下のリアクションをクリックして、手を挙げるをクリックして指名されるのをお待ちください。会場の質問者マイクを写すカメラを用意しますので、オンラインの座長の方はそちらも参考にしてください。

Zoom 接続時の注意

会場に来られている方は、帯域の節約のため発表前、発表中以外は zoom の接続を切っておいてください。会場の無線 LAN を使ったメールのやりとり等は問題ありませんが、高画質動画の閲覧等帯域に大きく負荷をかける行為はご遠慮ください。また、雑音を防ぐために、オンライン参加の方は質問時、講演時以外はマイクを切ってください。

感染対策

会場には消毒液と非接触の体温計を用意しています。最初の入場の際に検温させていただきますので、ご協力をお願いします。また、休憩時間等におけるご歓談は、なるべくマスクをしたままをお願いします。

参加費

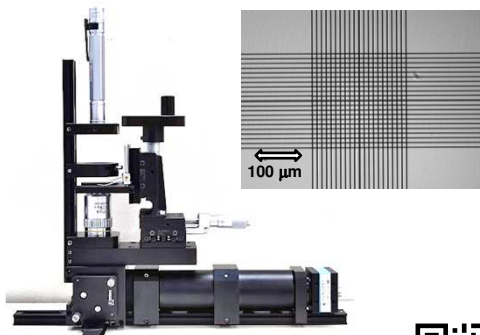
参加費については個別に振り込みをメールでご案内しています。案内が遅くなって期間が短く恐縮ですが、なるべく当日までの振り込みをお願いします。

コアユニット新製品も冬得キャンペーン対象です。



「2022年2月末日ご注文分まで」が対象ですが、3月までに納品可能な製品は早い者勝ちとなりますので、お急ぎください。

顕微鏡自作キット1: CU-Mini-DIY1(2022年/1月発売)



小型倒立顕微鏡をお客様自身の手で構築するために必要な部品一式(パソコンを除く)が梱包されたキット製品です。低価格なスターター製品の1つであり、組立作業を実際に体験することが、新しい光学系や実験系を自ら考え、発展させていくことに繋がります。

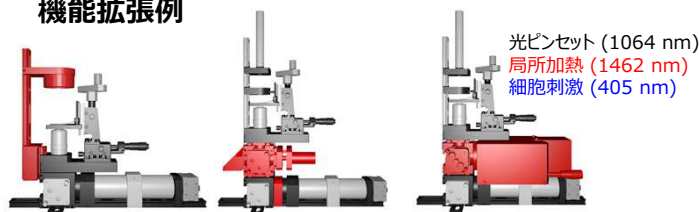
¥495,000(税込)
→¥371,250(25%引)



取扱および組立動画は、
以下アドレスまたはQRコードよりご利用ください。

https://jp.optosigma.com/ja_jp/core-unit-for-microscopy/cu-mini-diy1.html

機能拡張例



暗視野観察 LED蛍光観察 レーザユニット導入

光ピンセット (1064 nm)
局所加熱 (1462 nm)
細胞刺激 (405 nm)

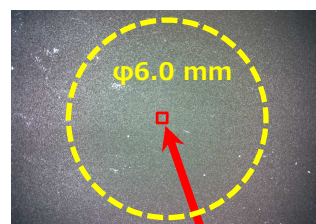
培養細胞用フラットトップ顕微鏡: CUS-FT(2021年/12月発売)



CUS-FT 培養容器のまま
培養細胞を観察



SeMATERAS



φ6.0 mm
φ1.0 mm
ビーズ
(暗視野)

暗視野版の部品合計
(一式~75万円)

視野 1.48 × 1.11 mm

組立済み顕微鏡

¥1,100,000(税込)

→ ¥825,000(25%引)

視野 8.6 × 6.6 mm

大腸菌2000万個を1ショットで録画できる超広視野顕微鏡 (SeMATERAS: Substitutional equipment of Multi-scale/modal Analytical Tool for Every Rare Activity in Singularity)への変更も可能です。

1000万円クラスのAMATERAS1.0 (Ichimura et al., Sci Rep. 2021) と比較すると40%程度と視野が狭い一方で、コストは1/10未満。

その他の製品についてもオンライン情報をご参照ください (動画等へのリンク)

<https://youtu.be/dLUpQW0ILfc>

- ・従来のTIRFシステム(1300万円以上)に対して、一式300万円程度から蛍光1分子観察が可能に
- ・従来の光ピンセット・ナノ計測システム(1000万円以上)が100万円程度から基礎的実験が可能に
- ・8万円程度から順次アップグレード可能な光学実習顕微鏡も

https://jp.optosigma.com/ja_jp/core-unit-for-microscopy/pdf1.pdf

- ・部品単位の組み合わせで構成する顕微鏡や光学ユニットの組合せユニット情報(pdf, 7.7MB)

https://jp.optosigma.com/ja_jp/core-unit-for-microscopy/pdf2.pdf

- ・ケース製品や従来製品、大型部品など、組合せ範囲がさらに広がった新部品(pdf, 3.8MB)



東京本社/営業部
東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-6551 / FAX.03-5638-6550
E-mail sales@sigma-koki.com

大阪支店
大阪市淀川区西中島4-9-28
TEL.06-6307-4835 / FAX.06-6307-4834
E-mail sales.osaka@sigma-koki.com

九州営業所
福岡市博多区比恵町3-17
TEL.092-481-4300 / FAX.092-481-4310
E-mail sales.kyushu@sigma-koki.com